



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KEKESHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 40 2017年9月発行

患者様の権利と義務

患者様には「ご自身が生命の主人公」として、医療従事者とのよりよい人間関係を築いていけますよう以下の「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

人格権

患者様は個人としての人格、価値観などを尊重されます。

受療権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを受けるために、医療機関を選択する権利があります。

知る権利

病名、病状、診療計画、検査・手術、薬、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利があります。

同時に、私たちに既往歴、現病歴、現在の治療内容、アレルギー歴など健康に関する情報を正確にお伝えください。

自己決定権

十分な説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。

同時に、それらの内容に関する指示を守る義務があります。納得できない場合は、他の医師や医療機関の意見を求めることができます。

プライバシーに関する権利

個人の秘密や医療に関する個人情報を守られ、私的なことにみだりに干渉されない権利があります。

参加する権利

診療内容や病院の運営につき苦情や意見を述べ、医療改善の活動に参加する権利があります。安全性を高めるためお名前のご確認などにご協力ください。

この広報誌にも掲載しておりますように、10月2日より六本松に新しく乳腺専門クリニックを開院致しました。増え続ける乳がん罹患率に対応し一人でも多くの方に乳がん検診を受けて頂くというものです。

開院場所である『六本松421』は広大な九州大学六本松キャンパス跡地にできた新しい街です。斬新な蔦屋書店さんや福岡市科学館もあり多くの人が集まるでしょう。そのような場所にあるクリニックですから、生活に密着したものであるべきだと思います。「乳がん」というと重い言葉ですが、しかし定期的な検診を行っていただければ、もしもの場合でも早期発見で対処することができます。できるだけ生活の中に組み込まれた乳がん検診でありたいと考えると、このクリニックの存在意義もはっきりします。

クリニックでも様々な検査をし診断まで致します。必要に応じ本院での検査を追加したり、手術も本院にて行います。

ですから、本院の診察室のひとつがクリニックとして六本松にできたと思っただけであればよいでしょう。

クリニック長をお任せする榎本康子先生は乳腺専門医です。本院にて手術もなされ、本院の医師と共同で患者様のフォローを行ってまいります。

本院と密接に繋がりがながら、新しい街の新しいクリニックで皆さんのお役にたちたいと思っております。



2017年夏祭り

今年も恒例の夏祭りを8月5日開催しました。スタッフが用意した露店でたこ焼きやかき氷をご家族と一緒に食べ、お孫さんと一緒にヨーヨーすくいをしたりして楽しいひと時を過ごされました。はっぴ姿の稲光医師やハチマキ・エプロン姿の院長とも一緒に記念撮影。飾られた写真はどれも最高の笑顔ばかりでした。

夜の部はピアノの生演奏を聴きながらドリンクを片手にみんなで花火を楽しみました。

日中の暑さも少し和らぎ、ルーフガーデンで夜風に当たりながらの花火。素敵な夏の1日となりました。



乳腺専門クリニックを開院しました！

九州大学六本松キャンパス跡地に生まれた新しい街

『六本松421』に乳腺専門のサテライトクリニックを開院しました。

乳腺専門医の榎本康子先生をクリニック長とし、スタッフは全て女性です。

本院と綿密な繋がりを持ち、患者様のデータも相互で利用できるシステムを作り

検診から診断まで致します。

更なる精密検査や入院治療は、本院との確実な連携のもとに行ってまいります。

より身近で安心・信頼される乳腺専門医療を提供するため

及川病院は本院とクリニックで今後も努力してまいります。

医療法人にゆうわ会及川病院 病院長 及川達司

及川病院 六本松乳腺クリニック



九州大学六本松キャンパス跡地

こちらの棟の2階です

福岡市科学館

天神方面

別府橋方面

クリニック長：榎本 康子
所在地：福岡市中央区六本松4丁目2番2号(六本松421 2階クリニックゾーン内)
最寄駅：地下鉄七隈線六本松駅、西鉄バス六本松

※ご予約は092-406-8172で承ります。



検診のネット予約ができるようになりました。
自費検診ご希望の方は、パソコンやスマホからご予約できます。
是非、ご活用ください。
※保険診療（症状がある方）や企業健診などの方は
お電話でのご予約をお願いいたします。



及川病院六本松乳腺クリニック長 挨拶



榎本 康子
＜学会・認定＞
日本乳癌学会専門医
日本外科学会専門医

みなさま、こんにちは。

10月2日より及川病院六本松乳腺クリニック長に就任いたしました榎本康子です。及川病院には2009年より非常勤医師として週1日半、乳腺診療に従事しておりましたので、新人というわけではございませんが、初心に戻り、気を引き締めて頑張りたいと思います。

私は生まれも育ちも福岡で、今まで市外で生活をしたことがないほど福岡を愛しています。幼稚園から高校まで市内女子校で学び、福岡大学を卒業したのち、福岡大学病院で長年、勤務しておりました。

乳腺専門病院である及川病院で、今までの経験を活かし、温かい医療を提供できればと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。



薬剤部紹介



当院の薬剤部は、薬剤師3名、クラーク1名の計4名で業務しています。

主な業務は、入院患者様の内服・外用・注射薬調剤、薬剤管理業務、無菌調整業務（主に抗がん剤混注）医薬品の適正管理や品質管理等です。

当院は、他院からの紹介患者様も多く、持参薬の管理も大切な業務となっています。

手術前に休薬の必要なお薬は無いか、当院で処方するお薬と飲み合わせの悪いものは無いか、重複して処方をされているお薬はないか等、注意して業務にあたっています。

又、患者様を中心に置いた情報の共有が求められていて、院内のみならず、紹介頂いた病院・クリニックや、かかりつけ薬局とも協力して治療に参加していく事が望まれています。

当院でも昨年よりオーダーリングシステムの導入がなされ、入院、外来の患者様の服薬状況が分かりやすくなり、情報共有に役立っています。

又、医療現場における電子媒体の実用化は目覚ましく、以前は分厚い本を抱えながらの検索が、端末のみならず、スマホ一台、ipad一台で網羅できるようになっており、検索も迅速に、効率的に行えるようになってきました。時や場所を選ばず検索できる環境は、プレアボイド（患者様の不利益を回避・軽減した事例）にも繋がるのではと考えています。

このような変化に応じた、より効果的な業務手順の見直しを行い、患者様に寄り添った安全で、安心して頂ける薬剤部を目指していきたいと思っています。

薬に関するご相談などございましたら、薬剤部までお気軽にお声をかけてください。

第三十九回 乳癌の術後補助療法（1）

顧問 野村雍夫

これから、しばらくは乳癌の手術後に再発リスクを低下するための全身治療について述べます。

・サブタイプによる乳癌術後補助療法の選択（続き）

乳癌は簡略化すると4つのサブタイプに分類され、それぞれ悪性度が異なり、治療（ホルモン療法、化学療法、分子標的治療）に対する感受性が違うことは前に述べました。再発の予測や術後補助療法が必要か、どの治療法がよいかを選ぶ手段となります。

さて、現実に戻りますと、現在、わが国では免疫組織化学的に測定したIHC4法（ER, PgR, HER2, Ki-67）により、予後の予測と術後補助療法の選択が行われています。HER2のIHC法で分類不能の際には、蛍光インサイテュハイブリダイゼーション法（FISH）によりHER2遺伝子の増幅を検出し、確認します。このような、比較的安価な方法でも、遺伝子発現プロファイル解析によるサブタイプ分類に匹敵する情報が得られます。

もちろん、当院でも乳癌の全例にIHC法を行っています。実際にエストロゲンレセプター（ER）を免疫染色した写真を示します。乳癌細胞の核が強く濃褐色に染まっています。これによりER陽性と認定し、全乳癌細胞の何パーセントが陽性であるかを決定します。これからの4つの因子の陽性、陰性の組合せにより乳癌の再発リスクと術後補助療法の選択が決定できます。また、腫瘍の大きさやリンパ節転移の有無、数により、さらに詳しい分類ができるという報告があります。



エストロゲンレセプター（ER）を免疫染色した写真